

《奥州》令和7年度胆江地方農業青年奨励賞表彰式及び 新規就農者意見交換会開催！

胆江地方農林業振興協議会（会長；高橋寛寿金ヶ崎町長）では、自らの創意工夫とたくましい実践力をもって農業の発展に向け努力している青年の意欲喚起を目的に「令和7年度胆江地方農業青年奨励賞表彰式及び新規就農者意見交換会」を11月28日にホテルニュー江刺にて開催しました。

今年度の表彰者は、奥州市江刺でトマト及びねぎ生産に取り組む佐藤健・紫帆夫妻並びに金ヶ崎町和光で酪農に取り組む横尾烈さんの2組となりました。佐藤夫妻は、中古ハウスや耕作放棄地を活用した積極的なトマト栽培の規模拡大に加え、外国人技能実習生、新規就農研修生受入及び規格外品を活用した加工販売の取組等が評価されました。横尾烈さんは、牛舎の清潔な環境整備や細やかな飼養、牛体管理で乳質改善大賞受賞に至ったこと、TMRセンター活用や出役など地域において重要な役割を担っていること等が評価されました。

表彰式終了後は、管内の新規就農者及び就農希望者17名が参加し、就農12年目の佐々木宏樹さんによるピーマン経営と独立自営研修中の小野悟さんによる就農に向けた取組についての事例発表後、意見交換を行いました。活発な質疑応答があり、終了後も個別に情報交換を行う姿もみられ、仲間づくりの貴重な機会にもなったようでした。

普及センターでは、今後も若い担い手確保・育成に取り組んでまいります。



会長と受賞された表彰者



意見交換前の事例発表